

レポート「特許分析で見る半導体の技術競争 ～揺らぐ国際協調と求められる知財戦略」の 妥当性検討

Felo AI

概要

三井物産戦略研究所が 2025 年 8 月 21 日に発表したレポート「特許分析で見る半導体の技術競争～揺らぐ国際協調と求められる知財戦略～」は、現在の半導体業界が直面する地政学的リスクと技術覇権争いの実態を、特許データという客観的指標を用いて鋭く分析しており、その妥当性は極めて高いと評価できる。本レポートの核心的な主張である「米中による技術覇権争いの激化」「国際協調の揺らぎと技術ブロック化の進展」「日本企業に求められる知財戦略の高度化」という 3 つの論点は、他の専門機関の分析、各種データ、および業界動向と高い整合性を示している[\[3\]](#)[\[22\]](#)[\[43\]](#)。

特に、特許出願動向を国際競争力の指標と捉え、米中が他を圧倒している現状を指摘する分析は、実際のランキングデータによって裏付けられている[\[2\]](#)[\[71\]](#)。また、米国の輸出管理戦略の変容がグローバルサプライチェーンの再編と技術ブロック化を促進しているという考察は、経済安全保障の文脈で広く共有されている見解と一致する[\[9\]](#)[\[21\]](#)。日本については、製造装置や材料といった特定分野での優位性を認めつつも、経営と一体化した包括的な知財戦略の欠如が将来的なリスクになり得るとの警鐘は、経団連の提言などにも見られる重要な指摘である[\[16\]](#)[\[22\]](#)。したがって、当該レポートは、複雑化する半導体競争の構造を理解し、日本企業が取るべき戦略を構想する上で、信頼に足る分析を提供していると言える。

詳細レポート

経済安全保障の中核としての半導体と知財戦略

現代の国際情勢において、半導体は単なる産業製品ではなく、国家の安全保障と経済的パワーを左右する戦略物資と位置づけられている[1][52]。米中間の大国間競争が激化する中で、最先端技術の開発・製造能力が軍事力や産業競争力の基盤であるという認識が強まっており、半導体サプライチェーンは経済安全保障の主要な焦点となっている[1][46][58]。

この技術覇権争いの最前線に位置するのが、発明や技術的優位性を法的に保護し、競争上の武器とする知的財産（知財）戦略である[41][73]。特許は、研究開発の方向性を示すだけでなく、他社の市場参入を牽制し、ライセンス交渉を有利に進めるための「攻め」と「守り」の両面で機能する[3][22]。そのため、各国の企業や政府は、特許出願・権利化を通じて自国の技術的優位性を確保しようと鎬を削っている[19][49]。



三井物産戦略研究所レポートの核心的分析

2025 年 8 月 21 日に公表された三井物産戦略研究所のレポートは、この複雑な状況の特許データに基づいて分析し、今後の動向と日本企業への示唆を提示している[5][20][28]。レポートの分析は、主に以下の 3 つの柱で構成されている。

- 特許出願動向に見る米中の技術覇権争い: レポートは、半導体関連の特許出願件数において米国と中国が突出しており、両国間で熾烈な技術覇権争いが繰り広げられていることを指摘している[3][22]。これは、両国が国家戦略として半導体技術開発に巨額の投資を行っていることの現れである[71]。
- 国際協調の揺らぎと技術ブロック化: 地政学的リスクの高まりと米国の対中規制強化などを背景に、これまで効率性を重視してきた国際的な分業エコシステムが見直されていると分析[3][22]。結果として、技術やデータの囲い込みが進み、西側諸国と中国を中心とした「技術ブロック化」が進行していると警鐘を鳴らしている[9]。
- 日本企業への示唆と知財戦略の重要性: レポートは、日本が半導体製造装置や材料分野で依然として高い競争優位性を持つことを認めつつも、その地位を維持・強化するためには、経営戦略と知財戦略をより緊密に連携させ、国際標準化なども含めた高度な知財ガバナンスを構築することが不可欠だと提言している[3][22][55]。

分析の妥当性の検証：多角的視点からの考察

三井物産戦略研究所のレポートが提示する分析は、他の客観的データや専門家の見解と比較しても、その妥当性が裏付けられる。

特許データに基づく競争力分析の有効性

特許情報を基に技術動向や企業の競争力を分析する手法は、広くその有効性が認められている[13]。例えば、日経ビジネスが算出する「特許価値成長力ランキング」や、パテント・リザルト社による「他社けん制力ランキング」は、単なる特許件数だけでなく、他社特許への引用頻度などを加味することで、技術の注目度や影響力を可視化している[2][4]。

これらのランキングでは、半導体製造装置メーカーの東京エレクトロンが常に上位に位置しており、その特許が競合他社の特許審査過程で多数引用されていることが示されている[2][4]。これは、同社が保有する特許の質の高さと、業界における技術的リーダーシップを証明するものである[4][45]。実際に、東京エレクトロンの特許保有件数は 23,000 件を超え、業界トップクラスの知財ポートフォリオを構築している[11]。



順位	企業名	業種
1	東京エレクトロン	半導体製造装置

順位	企業名	業種
2	ダイキン工業	機械
3	日本たばこ産業	食品
4	ディスコ	半導体製造装置
5	村田製作所	電子部品

出所: 日経ビジネス「特許価値成長力ランキング」を基に作成[2]

このように、特許関連の指標が企業の競争力を測る上で有効なバロメーターとなっていることから、三井物産戦略研究所が分析の根幹に特許データを用いたアプローチは妥当であると言える。

米中対立と技術ブロック化の実態

レポートが指摘する「技術ブロック化」は、現実の国際政治・経済の動向として顕著になっている。米国政府は、CHIPS 法による国内生産支援と並行して、商務省の輸出管理規則（EAR）などを通じて中国への先端半導体技術・製品の輸出を厳しく制限している[9][46][81]。この動きは、単なるコンプライアンス要件を超え、同盟国に対しても米国の戦略への同調を求める政治的・経済的圧力となっている[9]。

この米国の強硬な姿勢は、中国国内における半導体技術の自給自足に向けた動きを加速させる結果も生んでいる[9][72]。Huawei や SMIC といった中国企業は、国家の強力な支援を受け、米国の規制を回避しながら独自の技術開発を推進している[9]。これにより、長期的には西側とは異なる独自の技術エコシステムが中国に形成され、グローバルなサプライチェーンが分断される「デカップリング」や「ブロック化」が現実のものとなりつつある[21][58]。この状況は、三井物産戦略研究所の分析と完全に一致する。

日本企業の立ち位置と知財戦略の課題

レポートが示す通り、日本企業は特定のセグメントで世界的な強みを発揮している。特に半導体製造装置や、フォトリソストなどの材料分野では、東京エレクトロン、ディスコ、村田製作所といった企業が高い世界シェアと技術的優位性を誇る[3][22][63]。村田製作所は、売上高の約6割を世界首位の製品が占め、その強さは特許競争力にも表れている[8]。

順位	企業名	引用された特許数
1位	東京エレクトロン	937
2位	S C R E E Nホールディングス	428
3位	APPLIED MATERIALS (米)	347
4位	ディスコ	277
5位	アルバック	154
6位	東京精密	133
7位	LAM RESEARCH (米)	121
8位	芝浦メカトロニクス	112
9位	ASML NETHERLANDS (蘭)	94
10位	KOKUSAI ELECTRIC	86

しかし、日本全体として見た場合、課題も多い。経団連は、多くの日本企業が国際標準化活動へのリソース配分を十分に行ってこなかった結果、「技術で勝ってビジネスで負ける」状況が続いていると指摘している[16]。国際標準化機構（ISO）などにおける議長ポスト数で中国が存在感を増す一方、日本のプレゼンスは相対的に低下している[16]。

この状況を打開するためには、三井物産戦略研究所が提言するように、個別の特許取得に留まらず、研究開発、事業戦略、標準化戦略を一体で推進する高度な知財戦略が不可欠である[3][22]。東京科学大学の渡部俊也副学長も、製品開発の初期段階から経済安全保障の観点を組み込み、知財サプライチェーンを再構築する必要性を訴えている[21]。

結論：評価と今後の展望

三井物産戦略研究所のレポート「特許分析で見る半導体の技術競争」は、客観的な特許データと地政学的な動向分析を組み合わせることで、現代の半導体産業が直面する構造的変化を的確に捉えている。その分析内容は他の専門機関のレポートや各種データとも整合性が高く、信頼性と妥当性は非常に高いと結論付けられる。

今後の半導体業界では、技術ブロック化が一層進むと予想される。企業にとっては、自社のコア技術の特許で保護する「クローズ戦略」と、国際標準などを活用して市場を拡大する「オープン戦略」を戦略的に使い分けることが、これまで以上に重要になる[16]。また、サプライチェーン全体での知財リスクを管理し、経済安全保障の要請に応える「知財ガバナンス」の強化も急務となるだろう[21][22]。本レポートは、こうした次世代の知財戦略を構想する上で、価値ある洞察を提供するものと言える。

1. [国問研戦略コメント\(2021-06\) 大国間競争時代の半導体 ...](#)
2. [成長力ランキング 2 年の成長度を算出 半導体関連が上位に](#)
3. [半導体特許にみるブロック化と日本企業への示唆](#)
4. [競争激化の半導体製造装置業界「特許けん制力ランキング」](#)
5. [株式会社三井物産戦略研究所 - レポート](#)
6. [半導体クラスターに必要な“知財戦略”とは？](#)
7. [特許分析で見る半導体の技術競争～揺らぐ国際協調と求め ...](#)
8. [“特許力”が年々上昇、村田製作所の隙なき特許戦略。世界トップ ...](#)
9. [米中半導体戦争、新局面へ：米国が Samsung・Intel・SK ...](#)
10. [増井 on X: "三井物産戦略研究所 特許分析で見る半導体の技術 ...](#)
11. [知的財産への取り組み | 研究・開発 | 東京エレクトロン株式会社](#)
12. [TSMC 熊本を支える特許を分析 感光剤で日本企業に強み](#)
13. [特許庁レポート 特許分析から探る日本の競争力](#)
14. [キルビー特許訴訟とは？半導体集積回路の特許が与えた影響を ...](#)
15. [先端半導体をめぐる覇権のゆくえ～「21 世紀の石油」を掌握 ...](#)
16. [経団連：グローバルな市場創出に向けた国際標準戦略のあり方 ...](#)
17. [インテル社における知財マネジメント - 創価大学](#)

18. [特許分析×データサイエンス：次世代知財戦略の幕開け](#)
19. [半導体産業における知的財産保護の重要性 - CHIP LAW GROUP](#)
20. [2025 年 - 株式会社三井物産戦略研究所](#)
21. [経営の意思決定を促す懐刀 軍師は知財 | 知財経営戦略特集](#)
22. [半導体特許にみるブロック化と日本企業への示唆](#)
23. [東京エレクトロン、特許成長力で 1 位 5200 人が発明者に](#)
24. [世界初、AI によるメディア報道間の意見相違を瞬時に把握 三井 ...](#)
25. [TSMC 機密漏えい事件、元従業員ら起訴 背景に 2nm 半導体競争](#)
26. [訴訟情報 | 石村国際知的財産事務所](#)
27. [株式会社三井物産戦略研究所 - レポート](#)
28. [特許分析で見る半導体の技術競争～揺らぐ国際協調と求め ...](#)
29. [株式会社三井物産戦略研究所の評判・口コミ](#)
30. [増井 on X: "三井物産戦略研究所 特許分析で見る半導体の技術 ...](#)
31. [三菱総合研究所や三井物産戦略研究所のレポートを書いた...](#)
32. [先端半導体をめぐる覇権のゆくえ～「21 世紀の石油」を掌握 ...](#)
33. [株式会社三井物産戦略研究所](#)
34. [経済レポートニュース - X](#)
35. [三井物産戦略研究所「社員クチコミ」 就職・転職 ... - OpenWork](#)
36. [2025 年 - 株式会社三井物産戦略研究所](#)
37. [三井物産戦略研究所の入社前とのギャップ - エン カイシャの評判](#)
38. [What's New - 株式会社三井物産戦略研究所](#)
39. [三井物産戦略研究所「会社評価ランキング」 OpenWork](#)
40. [北米 - 株式会社三井物産戦略研究所](#)
41. [半導体産業における知的財産保護の重要性 - CHIP LAW GROUP](#)
42. [複雑な半導体サプライチェーンを解き明かそう](#)
43. [特許分析で見る半導体の技術競争～揺らぐ国際協調と求め ...](#)
44. [IBM の特許分析 | アッシュ\(某企業の知財部員\) - note](#)
45. [競争激化の半導体製造装置業界「特許けん制力ランキング」](#)
46. [半導体競争、技術覇権を制するのは | 特集 - 地域・分析レポート](#)
47. [成長力ランキング 2 年の成長度を算出 半導体関連が上位に](#)

48. [半導体調達の世界 ～変わりゆく半導体サプライチェーン ... - EY](#)
49. [知財戦略の先に未来があるーIT 企業の特許から見る国際競争力](#)
50. [インテル、強みの光電融合で特許出願急減 TSMC に逆転許す](#)
51. [東京エレクトロン、特許成長力で 1 位 5200 人が発明者に](#)
52. [米中覇権争いの焦点、半導体はなぜ重要なのかーQuickTake](#)
53. [【詳説】TSMC のビジネスモデルと技術戦略とは？ ～No.1 ...](#)
54. [グローバルサプライチェーンでみる半導体関税 - 日本総研](#)
55. [国際競争力をどう取り戻すか～\(前編\) - NHK スペシャル](#)
56. [【半導体製造装置】特許資産規模ランキング 2024 トップ 3 は ...](#)
57. [技術で未来を切り開いた男：C.H Lee 氏とソウル半導体の特許経営](#)
58. [米中半導体覇権争いの最新動向と日本企業への影響 - note](#)
59. [特集 1 世界で勝負する中小企業の知財戦略 広報誌 ... - 特許庁](#)
60. [半導体産業におけるグローバル・サプライチェーン再編の動き](#)
61. [半導体知的財産市場の競争環境に関する詳細な洞察と - Pando](#)
62. [半導体製造における統合と分業の選択：取引費用理論と資源 ...](#)
63. [“特許力”が年々上昇、村田製作所の際なき特許戦略。世界トップ ...](#)
64. [ハイテク覇権競争でリードする中国 追う立場の米国は台湾 ...](#)
65. [半導体クラスターに必要な“知財戦略”とは？](#)
66. [半導体ってそもそも何？サプライチェーンって何？](#)
67. [インテル、韓国の PCT 利用件数が急増、背景は半導体特許競争](#)
68. [半導体の未来 ～変わる社会と技術覇権の行方](#)
69. [知的財産への取り組み | 研究・開発 | 東京エレクトロン株式会社](#)
70. [半導体の大波到来！中小企業もサプライチェーンに食い込む ...](#)
71. [半導体特許申請は米中 2 強の時代に、背景には米国の対中制裁ー韓国 ...](#)
72. [半導体を制するものが世界を制する](#)
73. [知財戦略とは？ ～考え方と成功企業の事例を簡単に解説](#)
74. [半導体サプライチェーンのチョークポイントを探る](#)
75. [次世代半導体覇権争い、米国に迫られる選択 - MIT Tech Review](#)
76. [企業価値を高める知財戦略 | 立案から実行までの完全ガイド](#)
77. [国内の半導体サプライチェーンの最も強い結びつき - Chemours](#)

- 78. [第 2 次トランプ政権における米中半導体覇権競争の行方](#)
- 79. [半導体グローバルサプライチェーンはどう変わる？ - ジェトロ](#)
- 80. [半導体は覇権の産物です。 トランジスタと集積回路（IC）は ...](#)
- 81. [【解説】 トランプ政権下の“半導体覇権競争”同調圧力で日中 ...](#)